

参加型教員研修の試み

帝京大学大学院教職研究科

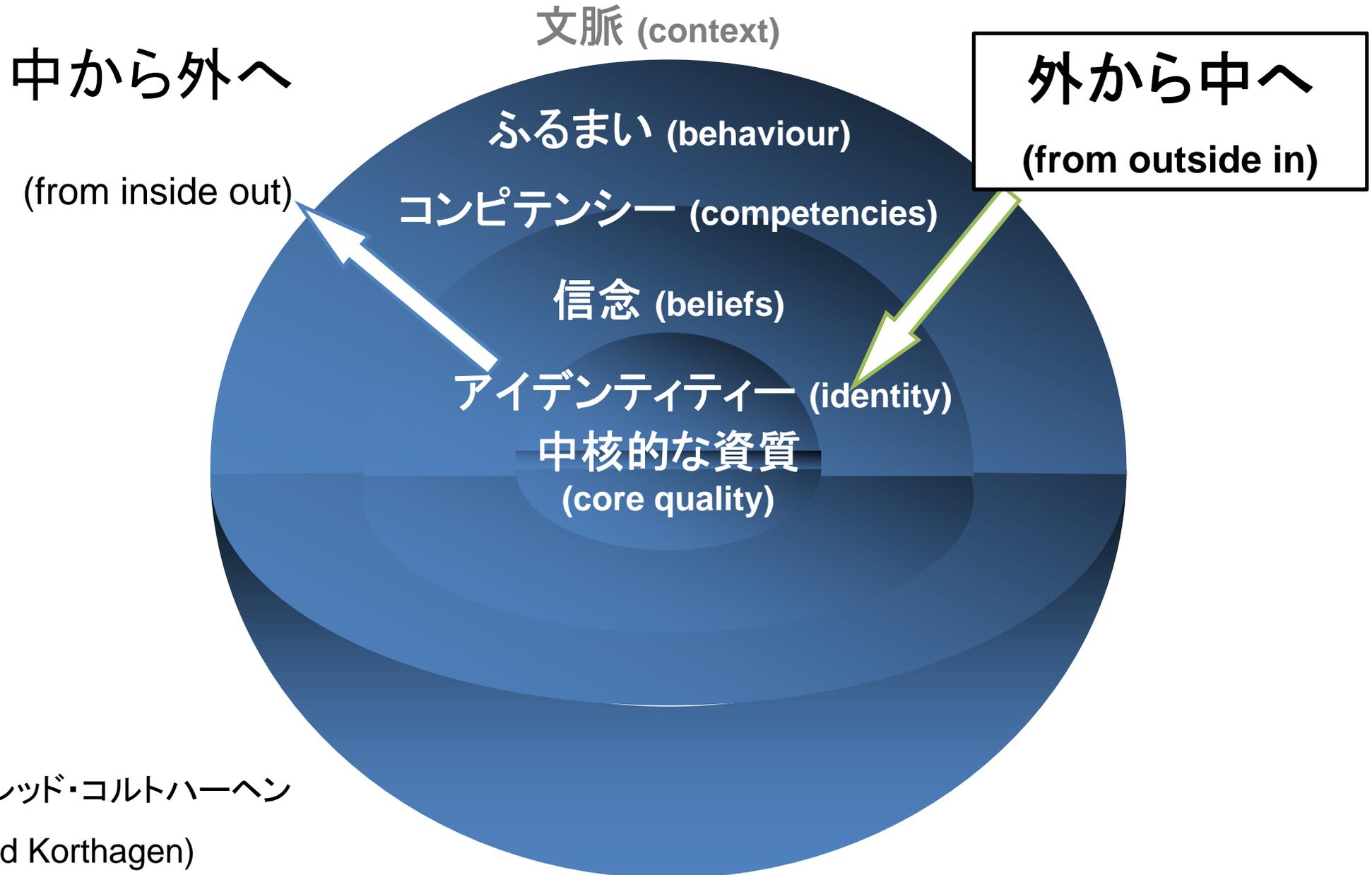
中田正弘

2011リフレクションワークショップ

- 5月/中央区:5~10年次経験者研修
- 7月/新宿区:研究主任研修
- 7月/武蔵野市:主幹教諭研修
- 8月/国立市:初任者研修
- 9月/国立市:校長研修
- 11月/東京都:10年次経験者研修
- 2月/羽村市:学校経営研究会

- <目的は一通りではない>
- 自身を見つめ、教師としてワンランクアップするための契機
 - 若手教員を育成する指導者として
 - 若手教員の多い学校の教育管理職として

「外から中へ」を知ることの価値



実践をベースとした省察モデル

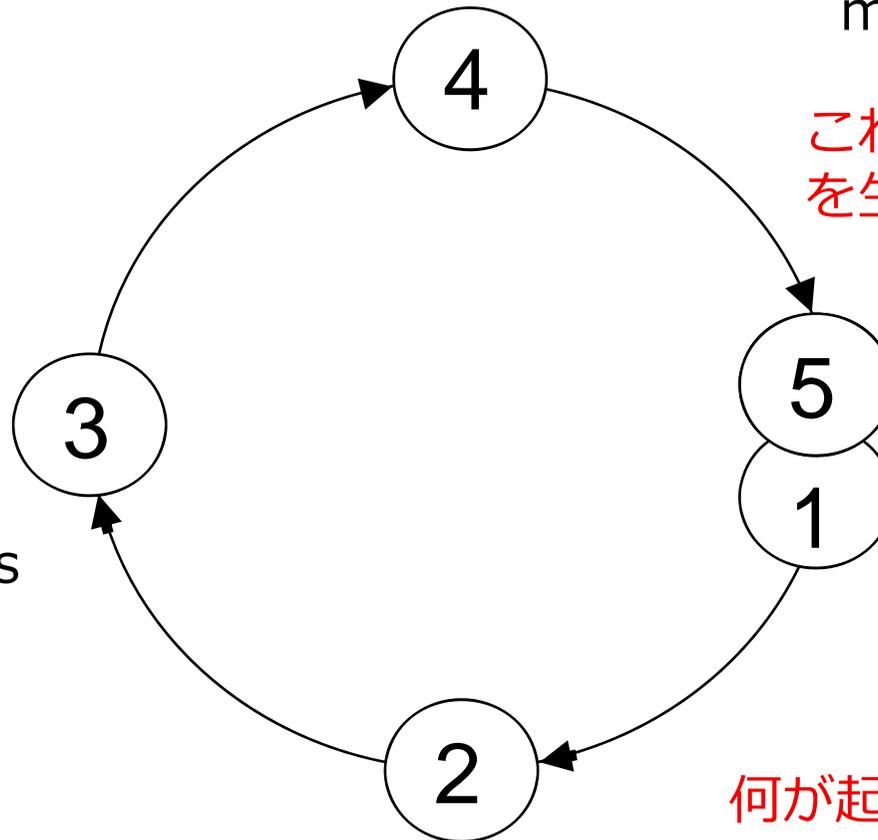
行為の選択肢の拡大

Creating alternative methods of action

重要な点はどこにあったのか？

これはどういう結果を生むだろうか？

本質的な諸相への気づき
Awareness of essential aspects



試行 Trial

行為 Action

何が起きたのか？

行為の振り返り

Looking back on the action

第2局面において、具体化を促す問い

1. 私(あなた)は何を考えていたのか?	5. 子供(教師)は何を考えていたのか?
2. 私(あなた)はどう感じたのか?	6. 子供(教師)はどう感じたのか?
3. 私(あなた)は何をしたかったのか?	7. 子供(教師)は何をしたかったのか?
4. 私(あなた)は何をしたのか?	8. 子供(教師)は何をしたのか?

「2つのベクトルをもつ」という成果

経験者層

学級・教科担任の経験

教科等研究の経験

主任・主幹等の経験

自己の経験を
どのように
生かすべきか

教員(児童生徒)の
経験をどのように
生かすべきか

若手教員

両方のベクトルをもてるようになるといい！